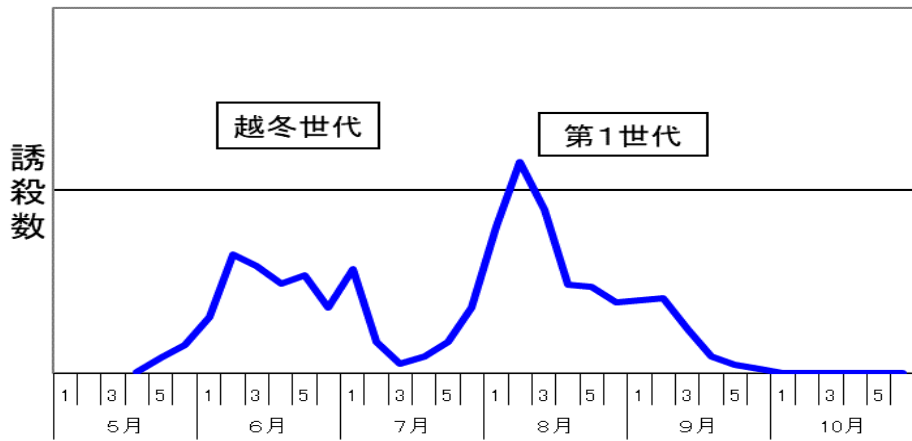


モモシクイガのフェロモントラップ誘殺消長（令和5年（2023年）調査）

長野県病害虫防除所

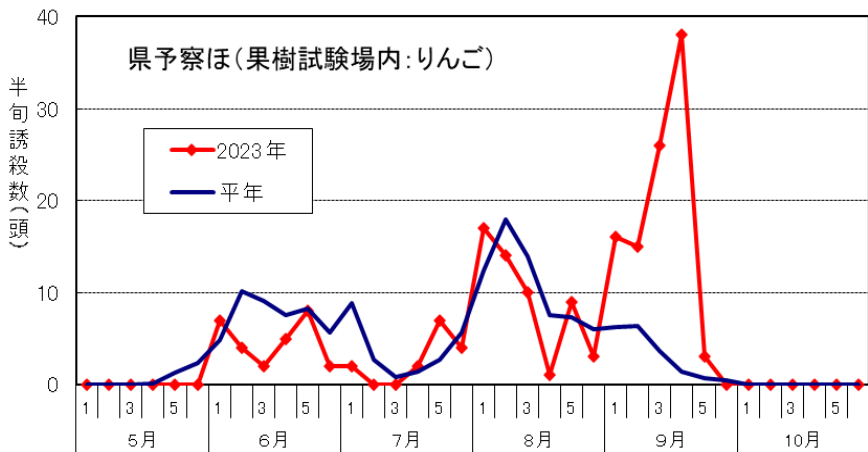
過去10年間の消長模式図（果樹試験場内 試験場予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・標高 600m以下の平地では年2回が大半である。
- ・準高冷地及び日照の少ない山沿いでは年2回発生が主体で、1回発生が混在する。
- ・越冬世代成虫は6月上旬から始まり、7月に入ると盛んになり、8月上旬まで続く。産卵は7月になると急増し、産卵最盛期は7月中下旬で、大半はがくあ部に産みつけられる。
- ・第1世代成虫は8月上旬から発生し、発生最盛期は8月中～下旬である。産卵最盛期は、成虫の発生期とあまり変わらない。
- ・防除はふ化幼虫の食入防止を中心とする。6月下旬から概ね2週間間隔で9月上旬まで防除する。特に7月中下旬と8月中下旬は重要な防除適期である。

○県予察ほ（須坂市 長野県果樹試験場内）



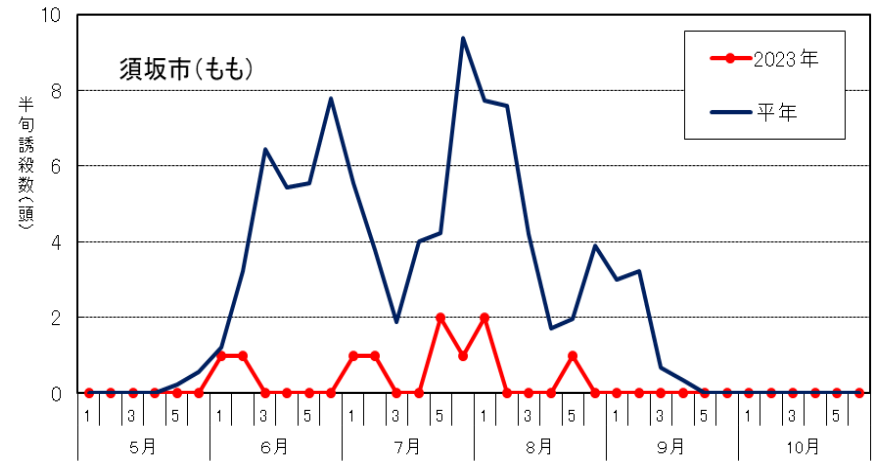
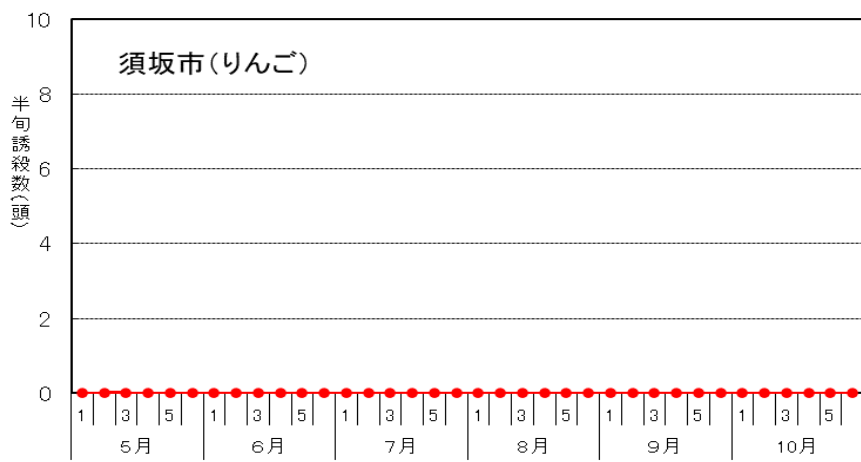
【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市 長野県果樹試験場（りんごほ場）
- ・平年は2013年～2022年の平均値

【コメント】

- ・誘殺数は、8月上旬に第1世代の最盛期があったと思われる。9月上旬中に、平年にはない大きなピークがみられた。

○須坂市（病害虫防除調査）



【調査地点】（標高約 370m）

- ・須坂市（りんごほ場）
- ・平年値なし（※2023年から調査ほ場変更）

【コメント】

- ・10月第2半旬まで誘殺されなかった。

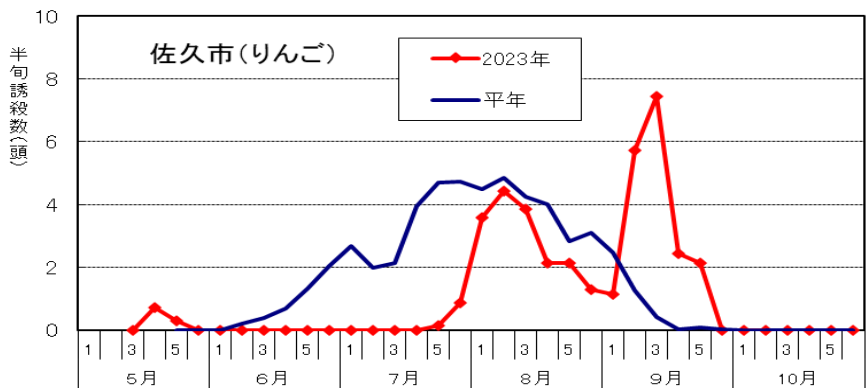
【調査地点】（標高約 370m）

- ・須坂市（ももほ場）
- ・平年は2013年～2022年の平均値

【コメント】

- ・誘殺数は、平年と比べ少なかった。

○佐久市（佐久農業農村支援センター調査協力）



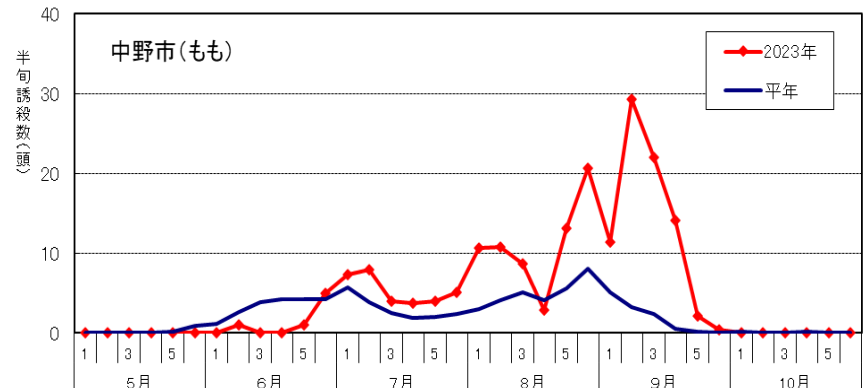
【調査地点】（標高約 680m）

- ・佐久市（りんごほ場）
- ・平年は2013年～2022年の平均値

【コメント】

- ・誘殺数は、8月第1半旬～9月第1半旬は平年並～やや少なく、9月第2半旬～第5半旬は平年と比べ多かった。

○中野市（北信農業農村支援センター調査協力）



【調査地点】（標高約 370m）

- ・中野市（ももほ場）
- ・平年は2013年～2022年の平均値

【コメント】

- ・誘殺数は、8月第1半旬以降は平年と比べやや多かった。